

社会資本総合整備計画

平成29年8月17日

計画の名称	1 芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業					重点計画の該当	○
計画の期間	平成27年度 ～ 平成28年度 (2年間)		交付対象	広島県			
計画の目標							

芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業は、民間活力を活用するためDBO方式を採用し、バイオマス資源である下水汚泥から固形燃料化物を製造後、燃料として石炭ボイラ等を所有する民間企業等に有償で供給するものであり、下水汚泥処分先の長期安定確保を目指すとともに、バイオマスエネルギーとしての有効利用及び地球温暖化防止に資することを目的とする。

計画の成果目標 (定量的指標)	・芦田川浄化センター及び尾道市・福山市から発生する下水汚泥を固形燃料化する。(固形燃料化する脱水汚泥の処理量: H27当初 0wet-t/日 → H28末 65.1wet-t/日)						
-----------------	--	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	芦田川浄化センター及び尾道市・福山市から発生する脱水汚泥の処理量 固形燃料化する脱水汚泥の処理量 (wet-t/日) = 芦田川浄化センターの脱水汚泥の処理量 (wet-t/日) + 尾道市・福山市の脱水汚泥の処理量 (wet-t/日)						定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H28末)	
							0wet-t/日	0wet-t/日	65.1wet-t/日	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,913百万円	A	1,913百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	------

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
広島県土木建築局下水道公園課において実施。	事業実施完了の翌年度。
	公表の方法
	広島県のホームページで公表。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A1-100	下水道	一般	広島県	直接	広島県	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	下水汚泥固形燃料化施設 設計・施工 (72.0wet-t/日)	福山市						1,913	契約期間 H26-28 (DBO方式)
合計												1,913			

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計												0			

C 効果促進事業 (該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					芦田川浄化センター及び尾道市・福山市から発生した下水汚泥を固形燃料化した。											
II 定量的指標の達成状況					汚濁物質 (BOD) で除去する量	最終目標値	65.1wet-t/日	目標値と実績値 に差が出た要因	目標どおり達成した。							
						最終実績値	65.6wet-t/日									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																
3. 特記事項 (今後の方針等)																
引き続き適切な維持管理を行っていくとともに、下水汚泥の有効利用を推進する。																